

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	韓国語 IA (Korean IA)					担当教員	李 欣洙 (イー フンスウ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目
	2011-0-12-016	教養科目	選択必修	2単位	1年次	通年		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目
	2411-0-12-014	教養科目	選択必修	2単位	1年次	通年		

① 授業のねらい・概要						
<p>韓国語は、日本語と多くの共通点を持つため、他の外国語に比べて学びやすく、親しみやすい言語です。語順は「主語-目的語-動詞 (SOV)」で、助詞を使って文中の単語の関係を示す点は日本語とよく似ています。また、敬語文化が発達しており、話す相手や状況に応じて言葉を使い分ける習慣も共通しています。こうした特徴により、日本人にとって文法のハードルは比較的低く、効率的に学習を進めることができます。</p> <p>もちろん、発音や文字体系などの違いもありますが、ハングルは表音文字であり、仕組みを理解すれば短期間で習得可能です。さらに、韓国語を学ぶことで、韓国ドラマや映画、音楽 (K-POP) をより深く楽しめるだけでなく、韓国文学や現地文化への理解も一層深まります。</p> <p>学習の第一歩として、ハングル能力検定5級やTOPIK 1級レベルを目指しましょう。</p> <p>基礎からしっかり学べば、日常会話や簡単な文章理解ができるようになります。韓国語の世界への扉を開き、あなたの可能性を広げてみませんか？</p>						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
コミュニケーション能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
<p>授業では、ペアワークやグループワークを中心に、学習した内容を実際に使いながら進めます。自分の経験を取り入れ、積極的に参加できる環境を整えています。さらに、大きな声での発声練習や反復学習を取り入れ、確実な定着を目指します。状況に応じて授業内容を柔軟に調整し、より実践的で応用しやすい内容を追加することで、学んだ韓国語をすぐに使える力へとつなげます。</p>						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
特になし						
⑤ テキスト (教科書) ※授業で使用する。						
『STEP☆UP 韓国語初級1』 キム・ミスク 著 (2023年) Jリサーチ出版						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
<p>韓国語を効果的に身につけるために、授業では次の3つのステップを大切にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予習： 次回の授業内容を声に出して読み、発音に慣れましょう。 ● 授業： 大きな声で発声し、積極的に参加することで、自然な会話力を養います。 ● 復習： 学習した内容を声に出して読みながら書くことで、記憶を定着させます。 <p>このサイクルを繰り返すことで、韓国語を「学ぶ」から「使う」へと確実にステップアップできます。</p>						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
<p>(1) 文字の読み書きができる。： ハングルの仕組みを理解し、正しく読む・書く力を習得する。</p> <p>(2) 動詞や形容詞の変化ができる。： 基本的な文法を学び、時制や丁寧表現などを使いこなせる。</p> <p>(3) 簡単な日常会話ができる。： あいさつや自己紹介、買い物など、身近な場面で使える韓国語を身につける。</p>						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	文字の読み書きができること	子音と母音の組み立てを十分理解し、ハングルを見てすらすら読むことができる	子音と母音の組み立てを十分理解し、正確に読むことができる	子音と母音の組み立てを理解し、少々間違えながら読むことができる	配布資料を見ながら読むことができる	配布資料を見ても読むことができない
(2)	動詞や形容詞の変化ができること	規則変化、不規則変化が正確にできる	規則変化、不規則変化がかなり正確にできる	規則変化が正確にできる	規則変化に少々間違いはあるが、意味は通じる	配布資料を見ても変化ができない

(3)	簡単な日常会話ができること	教室内で使われる日常会話が上手にできる	教室内で使われる日常会話が発音上の問題はあるが、意味は十分通じる	教室内で使われる日常会話が資料の単語を見ながら成り立つ	教室内で使われる日常会話が教員の助力を得ながら会話が成り立つ	教員の助力があっても会話が成り立たない
-----	---------------	---------------------	----------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	15%	15%		20%		100%
(1) 文字の読み書きができること	10%	5%	5%		5%		25%
(2) 動詞や形容詞の変化	20%	5%	5%		5%		35%
(3) 簡単な日常会話ができること	20%	5%	5%		10%		40%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	学習の定着をサポートするため、提出された課題は丁寧に添削し、改善点をわかりやすくフィードバックする。また、小テストは採点后、結果を返却し、理解度を確認できるようにする。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）
1	講義ガイダンス、基本母音と子音で文字を組み立てて読む	基本母音と子音の読み書きの練習をする 120分
2	二重母音と子音で文字を組み立てて読む	二重母音と子音の読み書きの練習をする 120分
3	バッチムが付く文字の読み方と書き方を練習する	バッチムが付いている文字の読み書きの練習をする 120分
4	第1課 私は学生です	名前や職業を尋ねる練習や、否定文を作る 120分
5	第2課 その人は私の弟（妹）です	この、その、あの、ここ、そこ、あそこを用いて簡単な会話文を書く 120分
6	第3課 授業が面白いですか？	自分の持ち物と曜日を用いて簡単な会話文を書く 120分
7	第4課 明日の夜、何をしますか？	誰が何をしているのかについて簡単な会話文を書く 120分
8	第5課 図書館にいます	「日変則」の正しい変え方を練習する 120分
9	第6課 土曜日にカラオケに行きましようか？	漢数字の正しい使い方を練習する 120分
10	第7課 公園で自転車にも乗りました	過去にしたことを話す練習をする 120分
11	第8課 薬を飲んでください	丁寧な命令や依頼の表現を練習する 120分
12	第9課 私たち、ごはん食べにいきましょうか？	動作の方向や目的を話す練習をする 120分
13	第10課 冷麺一杯ください	固有数字を正しく数える練習をする 120分
14	前期学習内容のまとめ	前期学習内容を定着させる 120分
15	前期末試験対策	前期学習内容の大事なところを確認する 120分
16	第1課～第5課まで復習①	第1課～第5課まで復習①を書いて話せるように練習する 120分
17	第6課～第10課まで復習②	第6課～第10課まで復習②を書いて話せるように練習する 120分
18	第11課 市場を見物するつもりです	これから行うことについて話す練習をする 120分
19	第12課 いつから待っていましたか？	人の外見や性格について話す練習をする 120分
20	第13課 私も旅行に行きたいです	どこへ旅行に行きたいのか話す練習をする 120分
21	第14課 毎日運動しなければなりません	運動や楽器などを用いてできるか、できないかについて話す練習をする 120分
22	第15課 雨が降っていますね	天候について話したり、感嘆の気持ちを練習する 120分
23	第16課 手伝ってくれてありがとうございます	引越しの話と理由や原因について話す練習をする 120分

24	第 17 課 ユノさんを紹介してください	授業の話と前の言葉と反対の内容を話す練習をする	120 分
25	第 18 課 会ってプレゼントをあげるつもりです	約束の話とある事柄の順序を話す練習をする	120 分
26	第 19 課 ここが光化門駅ですか？	交通手段と「ㄷ変則」と「ㄷ脱落」の正しい変え方を練習する	120 分
27	第 20 課 運転免許証を取ろうと思います	自分の意図や計画を話す練習をする	120 分
28	後期学習内容のまとめ①	後期の学習内容を定着させる	120 分
29	後期学習内容のまとめ②	後期の学習内容を定着させる	120 分
30	学年末試験対策	後期学習内容の大事なところを確認する	120 分
⑫ アクティブラーニングについて			
読み書き能力の定着と向上のため、課題と簡単な小テストを行う。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性